

山の話 其の四

●文：顧問 中村忠夫

山登りを始めたのが高尾山、今でも登る高尾山

夏目漱石の有名な小説『草枕』の冒頭辞「山路を登りながらこう考えた。智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。兎角に人の世は住みにくい…」の一節ではないが今年の正月に高尾山の山道を登りながら今年の山行きを考えた…

毎年、新年に山仲間が集りその年の山行きの計画を皆に披露し、同行者を募ったり、経験者のアドバイスを得たりする大掛かりな集まりがあるのだ。「登り残した北海道の山に、夏には行きたくない…」とか、「今年は山ではないが四国八十八箇所巡りをして、長年の無信心を詫言たい、女房孝行も兼ねて…」「ヒマラヤのトレッキングに2週間行きたい…」など、みな本音である。

そんなことを考えるのに何故か高尾山かといえば私の登山を始めた原点の山であるからだ。

今は妻と一緒に年数回は登る（少し腹の肉が出てきたぞ！今度の夏山に備えて少し足慣らしをしよう、山麓の豆腐屋さんの手作り豆腐を買いに行こう）、とても身近な懐かしい山でもある。今年の正月は仕事始めが過ぎた週末に奥多摩八王子地方に雪が降ったので、頂上から見渡せば雪景色の山々、特に富士山の姿が美しいはずだ。政治・経済界の大御所達が新年挨拶で今年は大変な年になる、「未曾有の年」とのたもっていた。高尾山の薬王院に初詣に行って今年の開運と山行きの安全を祈願し、山行き計画を考えようと思った次第。写真の通り、仲間を募って新雪を踏んできた。

ところが高尾山は昨年とんでもない混雑を極めた、フランスのタイヤメーカー『ミシュラン』の行楽地評価で三つ星を得たので（2009年版もやはり三つ星決定）珍し物好きのわが登山家が殺到したらしい。特に12月初めの休日は、かつてはのんびりと遅い紅葉を楽しめた山道に幾万の登山者モドキ観光客が溢れかえった。ケーブルカーの乗場には延々と列が出来、待っている内に頂上に着くはずが山道の渋滞に嵌りこちらもままならぬ、数時間待ちの盛況であった由。フランス人が勝手に選んだ星の数で踊らされる日本人も可笑しな人達ではあるが、自然が美しく残り、東京都心から小一時間で来れる地の利、整備された登山路等を見れば「なるほど」とは思う。静かな山歩きを楽しんでいた自然愛好者には結構迷惑な話であった。閑話休題。東京近郊で少年期を過ごした方はご存知だろうが、自然に親しみ、昆虫採集や野鳥の観察などに興味を持った少年にとって高尾山は一番身近で格好な山であった。標高600m、何処から登っても一時間から二時間以内で登れる、植物も人工的な植林ではなく山中にある薬王院の境内として自然林が残り、飛来する鳥類は数知れず、蝶々は関東近県中でも群を抜く種類がいるし、巨木にはムササビがいたりする野趣豊かな山である。

東京都区内に住んでいた純真な少年が山に登るきっかけを得たのは50年以上も前に遡る。山好きで、朴訥な新米美術教師が中学校の担任になった中三の初夏、女子を含めて五、六名が先生に連れられて高尾山に登ったことである。黄ばんだ写真が残っている、懐かしい先生の一瞬（6×6サイズ）写真である。学生帽をかぶり、開襟シャツを

高尾山より富士山を望む 2009年、新雪の薬王院



着て殆ど通学時の服装のままである。ただ肩から水筒を掛けて、竹竿のような杖をにぎっているのが登山姿と言える？ ようだ。当時の国電の駅は「浅川」と言った、現在のJR高尾駅である。駅から登山口まで甲州街道をテクテク歩いたことを覚えている。

その時のコースはどう登ったかは覚えてはいないが、薬王院を経て元に戻ったのであろう。その年、よほど楽しかったのか、一緒に登ったメンバーの一人のN君と二人で再び山頂から城山を越えて相模湖に下るコースを歩いた。その時の様子を作文に書いたことだけを鮮明に憶えているのは何故だろう。「水の尊さ」とか言って、持っていた水を飲み干して尾根上に水場がなく、城山の茶店で水を貰えると思ったらお金を取られてびっくりした（お金を出して水を買うということを知らなかった）理不尽なことではないか？ てなことを書いたと記憶しているが、以来、登山口では水筒とペットボトルに水を満タンにして行く癖がついた。その後暫くは高尾山かよ？ という具合で学生時代は殆ど見向きもせず、専ら南北アルプスやハケ岳だとかに出掛けていた。学生時代を終え女房を貰う頃になると、フキッちゃん山屋には気の利いた所に若い女性を連れてゆけず、勝手知ったる高尾山に連れ出したのである。お弁当を持って行く楽しさを知ったり、二人で歩く山道は乙なものでした。家族も増え、息子ら2人を連れて無理やりケーブルに乗せて山に登ることを強いたのも高尾山であった。大泣きされて往生した。

長男はその後、小学生の頃に、どう間違えたのか『日本野鳥の会』に入会、高尾山には足繁く通う様になり、幾度か行を共にしたものでした。学生時代もその方面に進み、とうとう野鳥観察を職業にしてみました。

子供達が独立したここ十年ばかりは夫婦での登山を楽しむようになり、加えて仲間達と行くお決まりは「春のお花見山行」と「暮の忘年山行」である。その他にトレーニングとしての早朝登山とか、晩秋の紅葉、新緑の木漏れ日を楽しみ、山麓の旨い物を訪ねる佳き所である。この佳さがフランス人に分かったのかな？ ミツ星は迷惑だけど！

この様に我登山の原点は高尾山なのであるが、最近はそのころ究極の目標を決めて行こうという気になって来た。

「登山者の端くれなら氷雪の高嶺の登頂ではないか？」「幾つだと思っているんだ？」「ミウラ何某は、75歳でエベレストに登頂したぞ」「日本百名山を登りきってなくては登山愛好家とは言えない」とか「うんぬんかんぬん…」周りは喧しい。自分の年齢も考慮して区切りの年の目標を決めて発表しよう。先ず、

- ①今年ネパールヒマラヤに世界最高峰エベレストを見に出かける。
- ②日本アルプスの3000m級の山に雪の有る頃に登る。
- ③北アルプスのど真中『雲の平』に泊まる。
- ④北海道の登り残しの山に登る。（人の百名山完踏に付合っ）

この四つを最低目標にして、時間と金を計算しながら予定を立てることにしよう。

「山路を歩きながらこう考えた」のである。



ジーズ Vol.39

contents

- message  
まっすぐに突き進んで行きましょう！
- report  
現代「贈り物」考
- 包装食品のものさし〈No.9〉  
2.包材は消費者との橋渡し
- 情報BOX  
山の話（その四）

message

まっすぐに突き進んで行きましょう！

不景気です。まったく不景気です。走り交うトラックの数は日毎に少なくなり、町を歩く人々の表情は心なしか元気がありません。派遣切りから正社員の人員整理へと、企業は生き残りをかけ、必死です。

人減らしを行い企業が残っても、仕事を無くした人の山を作った結果の社会的購買力の低下は国の体力そのものの弱体化を招き、ますます立ち直りが出来なくなってしまうのではないかと思うのですが…。

社会の役に立つこと。それが企業やこの国に生まれた一人ひとりの存在意義であり生き甲斐。まずは仕事をする。社会を形成する「人」、「もの」、「金」の流れに参加し、大きな渦を作ることに力を貸すこと。税金を納め、社会を形成している仕組みに自らを組み込むこと。当たり前なことを当たり前のように行うことが、おそらく社会の役に立つことの第一歩なのでしょう。

新しいことへの挑戦、更なる飛躍。会社や個人が成長するためのそんな言葉も、世の中がこう不景気風に吹かれまくると虚しささえ覚えます。

「食」の世界に携わることの出来る私たちは幸いです。人の生きる糧の側で仕事が出来ること感謝し、改めて思います。役に立ちたい、役に立つ企業でありたいと。

思わず食べたいようなもの。当たり前な日常の中でも輝きを持った商品創り。今、私たちが出来ることをこつこつと。そしてまっすぐに突き進んで行きましょう。

環境への配慮。この言葉はあまりに簡単に使われすぎではないでしょうか？決して、流行や都合が良いからといって使ってはいけません。ギンポーパックは、真剣にこの言葉と向き合っています。（和久井）

- 発行：株式会社ギンポーパック  
TEL.03-3866-1101(代) URL.http://www.ginpack.co.jp
- 編集・制作：株式会社クリエイティブコア  
TEL.03-3663-6621
- 発行年月日 2009年2月15日

## 現代「贈り物」考

### 春の兆しはあるやなきや

如月（きさらぎ）。旧暦の二月。春がそこまで来ていることを予感させる月。しかし世の中は、まだ春の兆しに程遠く、トヨタを追って日産も1800億円の営業赤字を発表しました。先行きの見えない経済状況の中で、「欧米に比べ我が国はまだまだ軽いも。銀行が倒産しましたか？」と発言され、ヒンシュクを買った政府高官が居られました。たしかに我が国の完全失業率14%。アメリカ7.2%、EU25カ国の8.8%に比べればまだまだ軽いかも。確かに、街中には商品があふれ、大部分の人々の顔もさほど暗くなく、豊かさを感じさせていることも確かです。この稿を書いている2月の初頭は、バレンタインデー恒例の贈り物、チョコレートの販売合戦も熾烈を極めています。そういえば、苦しいキツイと言いつつも、だからといってお歳暮を止めたかな。いや、金額は低くしてもやっぱりやったよなあ。ということ、覚えがありませんか。不景気といえども、長年の習慣からか、感謝の気持ちをいつも持ち合わせる日本人の特質なのか「贈り物」が身の回りから離れることはありません。贈ることも、受取ることも。そこで、今回は景気に関係なく、「贈り物」について調べてみました。

### 「贈り物」。良いも悪いも紙一重

広辞苑で「贈り物」をひも解いてみました。「人に贈り与える品物。進物（しんもつ）、遣い物」。また他の辞典では、「何か出来事があった際に贈る特別なもの」というのもありました。中元・歳暮から始まり、香典、餞別、各種お祝いなど、挙げたら切りがないほど多くあります。

ついでに賄賂も調べてみました。「不正な意図のもとに他人に金品を贈与すること。賂（まいない）、袖の下」とありました。じつに味も素っ気もない表現です。

しかし、待てよ。表現は多少違って、不正な意図という言葉を外せば、「贈ること」には違いがない。じゃあ、どこが境界線なのか。いろいろ調べましたが、その明快なボーダーラインは見つけられませんでした。その結果、出てきた結論。贈り物なんて簡単に言うが、これの善と悪とは紙一重。どこで間仕切りするかは人により、ところにより、時代背景などで明確な線引きは難しい。江戸中期、10代将軍家治の側用人・老中として政治の実権を握っていた（1767-86年）田沼意次は、現代一般的には賄賂まみれの悪人政治家として見られていますが、果たしてそうだったのか。財政基盤を米中心から商業経済への転換を図ったこと、商品作物栽培奨励、下総印旛沼開拓計画、外国貿易の奨励など、経済の近代化に向けて力を振るった政治家でもありました。ものの本に寄せれば、日夜門前に商人たちが進物を持って列をなしたといいます。ただし、来るものは拒まずであったことも事実のようです。これを賄賂と考えるか、時候の挨拶と考えるか、はたまた「何か出来事があった際に贈る特別なもの」だったのか。当時の人々はこれを賄賂と考えていたのか。感謝のしるしと考えていたのか。判りませんな。いまじゃあ、便宜供与と一対だと物議を醸し出すでしょうが。

### 2月といえばバレンタインデー・プレゼント

如月の贈り物といえば、バレンタインデーのプレゼント。この贈り物について、ちょっとウンチクを。バレンタインデーの起源

を辿ると、AD269年に当時のローマ皇帝の迫害下で殉教した聖ヴァレンティヌスに由来する記念日であるというのが通説です。その日、2月14日に贈り物をするキリスト教の習慣が一般化したものであることは皆さんご承知の通りです。しかしこんな説もあります。当時ローマでは、2月14日はすべての神の女王であり、家庭と結婚の神でもあった女神ユノの祝日。その祝いのプレゼントがこれに当たるというものです。どっちが正しいかどうかはさておき、宗教を抜きにして習慣化しているのは日本が最たるものようです。

### バレンタインデーに女性がチョコを贈るのは日本だけ

そこでその内容を調べてみました。日本…女性だけがチョコレートを送る習慣は日本ではじまったといえます。女性から男性に贈るだけで男性から贈られることはほとんどないということと、プレゼントがほとんどチョコレートに限定されていることが特徴です。戦前の1936年、神戸モロゾフ洋菓子店が「バレンタインチョコレート」として始めて売り出しました。第二次大戦後の1958年、伊勢丹新宿本店でメリーチョコレートカンパニーが「バレンタインセール」というキャンペーンを行い、チョコレートを売り出しましたが、ほとんど売れなかった、といえます。本格的に定着したのは1960年、森永製菓が新聞キャンペーンを行う等、製菓メーカーが積極的に動き出し、日本の文化として根付いて行ったということです。

韓国・台湾…両国・地域ともよく贈られるもののひとつにチョコレートがありますが、日本のようにチョコレートだけというわけではなく、特に台湾では男性が女性に贈るケースが多いといえます。また台湾には、8月の旧暦7月7日に当たる日にも七夕という「バレンタインデー」と似た行事があり、台湾・香港など中国語圏では「人情節」と訳されているそうです。

欧米諸国…女性も男性も花やカードなど、いろいろな贈り物を恋人に贈ります。カードには、From Your ValentineとかBy My Valentineと書きます。贈り物はさまざまですが、チョコレートを贈る習慣は、19世紀後半のイギリスに始まりました。国際的菓子メーカーで知られるキャドバリー社が1868年、美しい絵の付いた贈答用のチョコレートボックスを発売したのが始まりというのが定説です。

### チョコだけじゃなく、愛情・気持ちがほしい

バレンタインデーにチョコレートと一緒になにがほしいか、という調査を20~40代の男性を対象に行ったインターネット調査結果が出ました（オリコン調査）。

- ①愛情／気持ち……………43.0%
- ②手紙／メッセージカード…30.9%
- ③腕時計／時計……………23.9%
- ④アクセサリー……………16.7%

「気持ちに優るものはない」。女性から「愛情」を求める男性の純情で素直な気持ちが浮かび上がった、と分析していますが、回答した男性諸氏は3月になれば「ホワイトデー」という、恐ろしい現実が待っていることをご存知でしょうな。

注：日本の失業率は総務省統計局労働調査（平成20年12月速報）  
アメリカの失業率はニッセイ基礎研究所（2009年1月13日速報）  
EUの失業率は欧州統計局（2008年6月速報）による

## 2.包材は消費者との橋渡し

### (1) 消費者の目

37号まで消費者、メーカー、法律の3つの目を意識しながら、惣菜や冷凍餃子を事例に取り上げ、産地から食卓に上がるまでのプロセス管理とHACCP導入についての概略を展望してきました。まとめの作業として、安全の根幹をなすメーカーの食品のプロフローチャートならびにHACCP総括表をHACCP7原則12手順に沿って作成したものを示しました。日常、現場では安全な条件とする生産・品質・衛生管理の作業の約束、ルールに従って作業し、作業内容を確認することで、発生する問題はほとんどなく安全な食品を提供しています。作業者はロボットではなく人ですから、人の力量如何で作業上何が起るかはわかりませんが、設備を動かす電気がストップするとか想定外のことが起こらない限り、作業管理は難しいことではないのです。

消費者に提供される包装食品は、工場内の製造体制について製造管理手段としてTQM、GMP、SSOP、HACCP、ISO22000等の管理手法を取り入れて、作業員一人一人が現場で確認しながら製品の生産・品質・衛生管理を実施し、食中毒や異物混入など危害の対応を行って産出されたものです。

従って、包装食品はメーカーの顔です。メーカーの顔ですがそのものを見て消費者は食品がどのように作られるのかは現場に入り込まない限り分かりません。メーカーでは、工場見学コースを設けて消費者とのコミュニケーションを図っている所もありますが、多くの消費者が知り得るのは、小売店の店頭で販売される食品それ自体と食品を包んでいる包材に記載された表示からのみです。食品が美味しそうに見えれば手にとるでしょう。でも食品については、包材がメーカーの顔の橋渡しをするのです。顔の表情は表示の記載内容如何によって変化します。表示は重要なのです。

消費者は表示のどこを見て購入するのでしょうか。一括表示のどの項目でしょうか。原料産地、添加物、アレルギー源、期限表示等々。表示については、消費者の目線に立って現在の表示でよいのかどうか、どこを改めたら良いのか見直す必要があるでしょう。少し古い資料ですが、総務省が平成14年5月の消費者の食品表示に関する意見要望について調査した資料があります。延べ910件の意見要望の内容ですが、その中から2、3取り上げてみると、

- (1) 食品表示に対する不信【148件】（虚偽表示の発覚により食品表示を信用できない／食品表示について何を信用してよいのか分からない／正直に食品の表示をして欲しい）
- (2) 表示事項の改善を求めるもの【125件】（詳細な表示をして欲しい／製造年月日、農薬の使用状況等を表示して欲しい／表示項目の簡素化が必要）
- (3) 表示方法の改善を求めるもの【87件】（文字を大きくして欲しい／賞味期限等を分かりやすい場所に表示し

て欲しい）

(4) トレーサビリティの確立を求めるもの【10件】等々です。(4)に関連して最近、消費者の目線に立って食品の製法を包材に表示して消費者の理解を求めているメーカーがあります。しかし、(1)の食品表示に対する不信から言えることは、消費者が一番注目するのは原料産地の表示です。これは中国事件（残留農薬、メタミドホス、メラミン、ジクロロボスなど）の影響が大きいです。

原料産地の表示については、生鮮食品には義務付けられています。加工食品については平成16年のJAS法改正で義務表示対象品目群が20食品群に拡大されましたが、平成18年の食品に関する共同会議でさらに拡大する方向で検討されています。

東京都では独自に食品の原料原産地表示に取り組んで、調理冷凍食品について新たに義務表示を義務付けました。

〈これまでの表示〉	〈新たに義務付けによる表示〉
名称 エビピラフ	名称 エビピラフ
原材料名	原材料名
米	米(国産)
たまねぎ	たまねぎ(米国産)
にんじん	にんじん(中国産)
エビ	エビ(ベトナム産)
スイートコーン	スイートコーン(米国産)

(原料原産地表示例)

消費生活条例に基づく告示改正平成20年8月末公示（公示の日から9ヶ月間の経過措置有）

#### ●表示すべき原材料の範囲

(1) 原材料の重量に占める割合が5%以上のもののうち、上位3位までのもの。

(2) (1)に係らず商品名にその名称が使用された原材料。

#### ●表示すべき原材料の種類

- (1) 肉野菜などの生鮮品
- (2) 魚の干物など生鮮に近い加工品
- (3) かつお削り節
- (4) 農産漬物品
- (5) うなぎ加工品
- (6) 野菜冷凍食品

安全なものを提供してもらいたいという目線をメーカーも再認識して、正しい表示をする事が求められています。輸入食品が多い加工食品の産地表示については当然の動きとなるでしょう。この動きには留意する必要があります。